

2021年度 地域主体のまちづくり推進事業の概要

1. 事業概要

① 目的

都市及びその中心部では、地域主体のまちなかの活性化、プレイスメイキング、防災まちづくり、景観形成、交流拠点づくり、住宅地のマネジメントなど、近年、地域主体のまちづくりの芽が出てきている。このような地域主体のまちづくりを育てることで、まちのエリアマネジメントへ繋がることが期待される。

地域主体のまちづくりでは、理論とともに経験の共有が必要である。当該普及啓発事業においては、経験を活かしたレクチャーと理論をもった専門家の助言のもと実践に向けたワークショップ・活動を行うことが有効である。多様な専門家のネットワークを持つ当協会が、経験とノウハウを活用し、全国的に地域主体のまちづくりを普及すること、及び、テキスト等を作成し広く社会と共有することを目的に実施する。

② 実施期間

令和3年7月1日から令和4年8月31日

新型コロナウィルス感染症の感染拡大のために、予定していた会議が延期になったため、実施期間の延長を申請し、了承された。

③ プログラム内容

1) 地域向け地域主体のまちづくり出前講座

まちづくりに取り組みたい団体を対象に、テーマリクエストに応じた講師を派遣する。

1～3回の出前講座を開催し、各回ともに、前半は講師によるレクチャー、後半は参加者により、当該地域のまちづくりを具体化するためのワークショップを開催する。

2) 自治体職員向け地域主体のまちづくり出前講座

地域主体のまちづくりを普及するためには、自治体職員に知識や情報を伝えることが有効である。地域主体のまちづくりに取り組みたい自治体職員を対象に、テーマリクエストに応じた講師を派遣する。

1回の出前講座を開催し、前半は講師によるレクチャー、後半は参加者により、当該自治体で地域主体のまちづくりを推進するために必要なことについてワークショップを開催する。

3) プレイスマイキングワークショップ

地域主体のまちづくりの内容として、プレイスメイキングを推進したい地域が多いことを踏まえて実施するプログラムである。プレイスメイキングのノウハウは、実践によって培われる部分が大きい。そこで短期間のプレイスメイキングを体験し、その結果を踏まえて、ワークショップを行い、事業化に向けた検討を行うプログラムを実施する。

4) まちビト・トーク

地域主体のまちづくりの担い手として、若者を望む声が大きい。若者の思考は都市計画や建築の専門家に限定されておらず、幅広い分野の中のまちづくりの先導者の経験を求めることが、当協会のこれまでの活動で認識された。

そこで、若手のまちづくりの先導者やプランナーの卵を対象として、都市計画や建築

の専門家以外で、まちづくりの先導役として活躍している人を講師として招きレクチャーを聞き、その後、まちづくりの先導役の資質について意見交換を行うワークショップを開催する。

5) みんなのまちづくりNOTEの作成

当協会のこれまでの実績を活用し、地域が主体となってまちづくりを進める際に参考となるガイドライン（具体的なまちづくりの進め方や経験則を記す冊子）を作成し、配布するとともに、日本都市計画家協会のホームページで公表する。

6) 地域主体のまちづくりフォーラム

1)～5)の活動の報告と地域主体のまちづくりを普及させるための意見交換を行うためのフォーラムを開催する。講師による基調講演等とともに、各種ワークショップを開催した地域からパネラーを招聘し、当該事業の成果、地域主体のまちづくりの推進方策について協議を行う。

④ 実施地域

1) 地域団体を対象とした地域主体のまちづくり出前講座（6地区）

- ・東広島市西条駅周辺地区
- ・伊東市松川周辺地区
- ・日立市常陸多賀駅周辺地区
- ・静岡市小島地区
- ・氷見市中央町商店街地区
- ・群馬県大学生・企業連携

2) 自治体職員向けの地域主体のまちづくり出前講座（3自治体）

- ・生駒市
- ・宮古島市
- ・神奈川県真鶴町

3) プレイスマейキングワークショップ（1地区）

- ・東広島市西条駅周辺地区

4) まちビト・トーク（2回）

※リモート会議形式で実施。特定の地区は無し

5) 地域主体のまちづくりガイドラインの作成・配布・公表

みんなのまちづくりNOTE 2テーマの作成

- ・ウォーカブルなまちづくり
- ・地域主体のエリアマネジメント

6) 地域主体のまちづくりシンポジウムの開催

出前講座の開催地から参加者を募り、地域主体のまちづくりについて意見交換を実施

【位置図】

- 地域向け出前講座の実施地域
- 自治体職員向け出前講座の実施自治体
- プレイスマーキングワークショップ



2. 実施内容

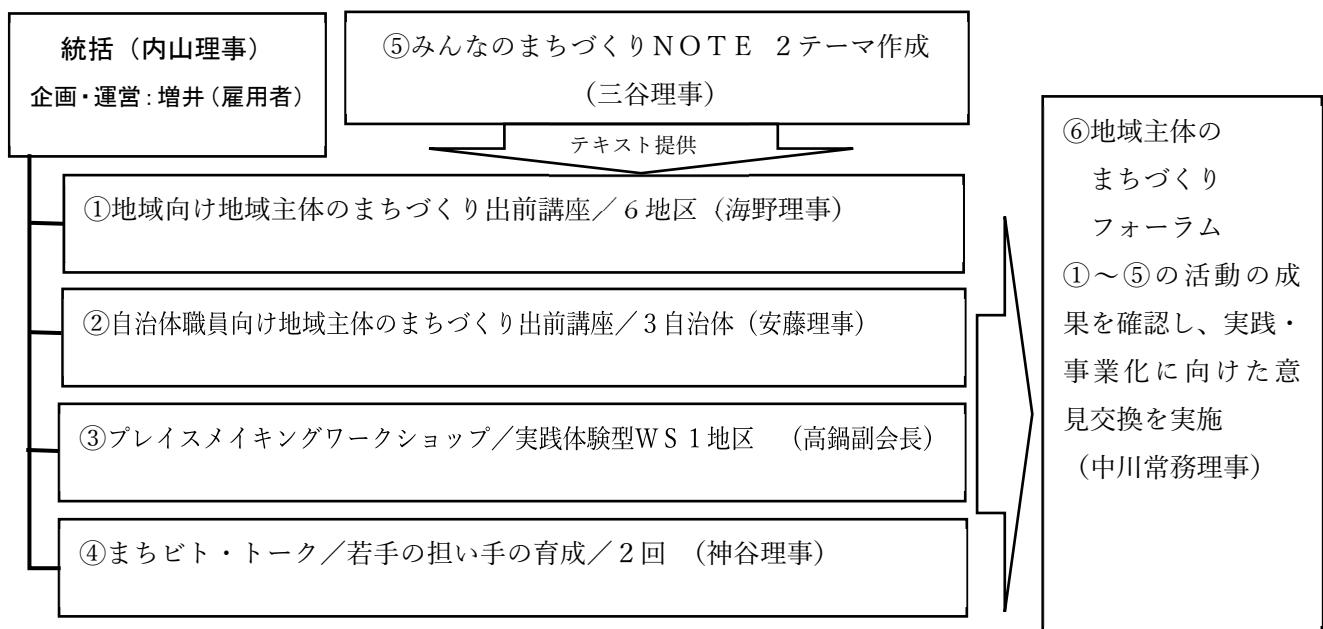
(1) 目標

- ・ 地域主体のまちづくりを推進したい地域団体への情報提供と人材育成
- ・ 地域主体のまちづくりを推進したい自治体への情報提供
- ・ 地域主体のまちづくりに関するノウハウの公表

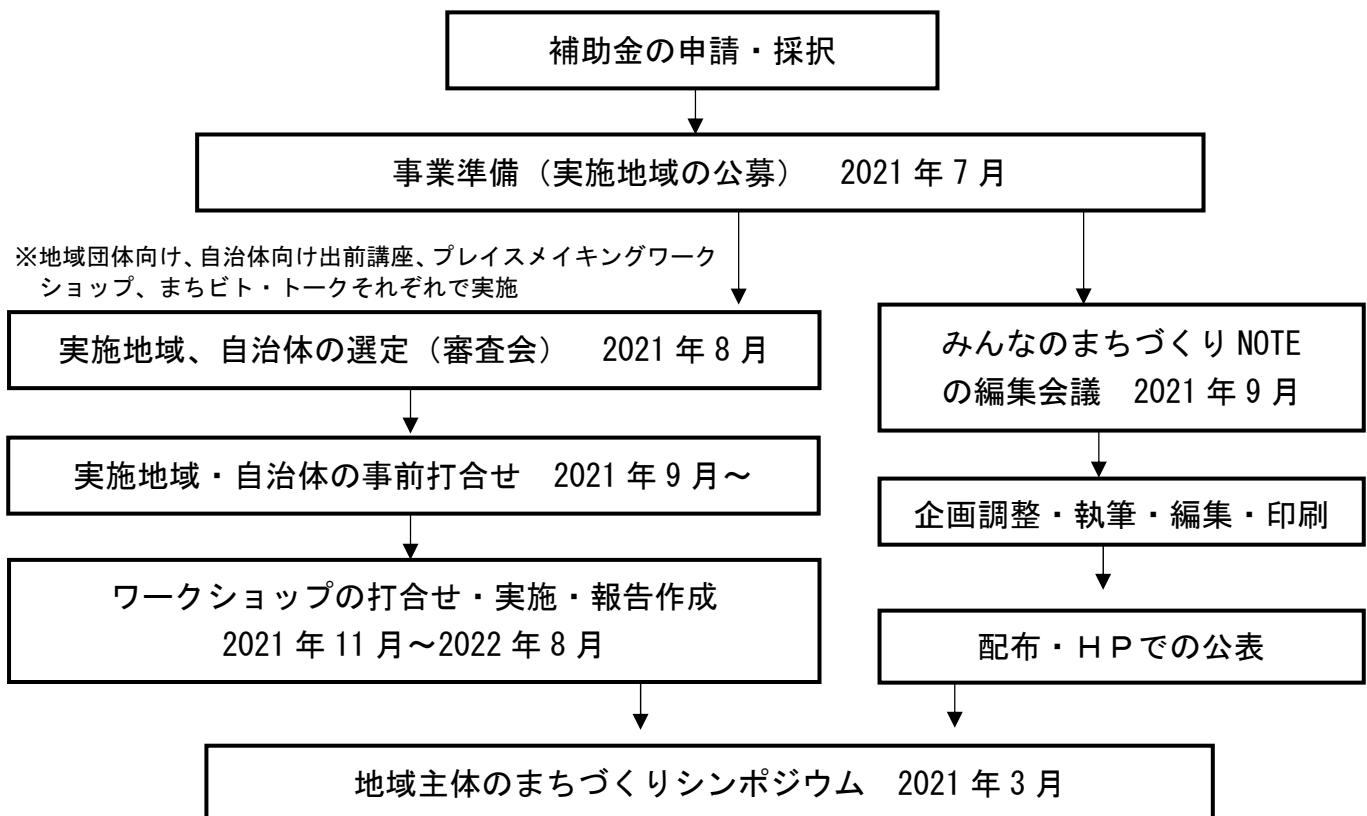
(2) 実施状況

① 実施体制

- ・日本都市計画家協会内に設置するまちづくり支援部会（担当：内山理事）が主体となり、本事業をマネジメントした。
- ・また、6つの事業について担当の理事が運営する体制とした。
- ・地域や自治体等からのテーマの要請に応じて、日本都市計画家協会の会員または当協会のネットワークから、適した講師の派遣を行った。



② 実施フロー



(3) プログラムの実施概要

I. 地域団体向け地域主体のまちづくり出前講座

①東広島市西条駅周辺地区

テーマ	①ウォーカブルなまちづくり ②プレイスメイキング ③エリアプラットフォーム
実施経緯（3回）	2022年5月23日 8月2日 8月30日
講師	高野哲夫 三谷繭子 木村静 内山征



②伊東市桜井地区

テーマ	①まち（温泉街）の活性化 ②景観形成 ③エリアマネジメント
実施経緯（3回）	2021年12月3日 2022年5月21日 6月21日
講師	海野芳幸 三木和美 内山征 高野哲夫



③日立市常陸多賀駅周辺地区

テーマ	①エリアマネジメント ②公共空間の活用 ③学生まちづくりの継承
実施経緯（2回）	2021年12月13日 2022年3月1日
講師	小泉瑛一 荒木笙子 内山征



④静岡市小島地区

テーマ	旧交流館跡地の活用
実施経緯（3回）	2021年11月7日 11月19日 11月26日
講師	園田聰 海野芳幸 高梨沙帆 神林俊一 上原薰 木下勇 小池潤



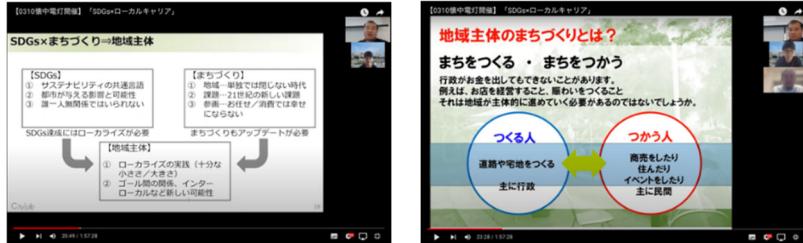
⑤氷見市中央町商店街地区

テーマ	①商店街の活性化 ②エリアマネジメント
実施経緯（3回）	2021年11月13日 2022年1月9日 5月22日
講師	内山征 堀江佑典 三谷繭子 椎原晶子 林匡宏



⑥群馬県大学

テーマ	①SDGs ②エリアプラットフォーム
実施経緯（1回）	2022年3月10日
講師	平井一步 内山征 長田拓真



II. 自治体職員向け地域主体のまちづくり出前講座

①生駒市

テーマ	住宅地マネジメント
実施経緯	2022年5月20日
講師	中川智之 山本一馬 原田祥子



②宮古島市

テーマ	①エリアマネジメント ②公共空間活用 ②パークマネジメント
実施経緯	2021年7月22日
講師	神谷秀美 右田萌 内山征



③神奈川県真鶴町

テーマ	行政DX
実施経緯	2022年8月19日
講師	東宏一 三谷繭子



III. プレイスマейキングワークショップ

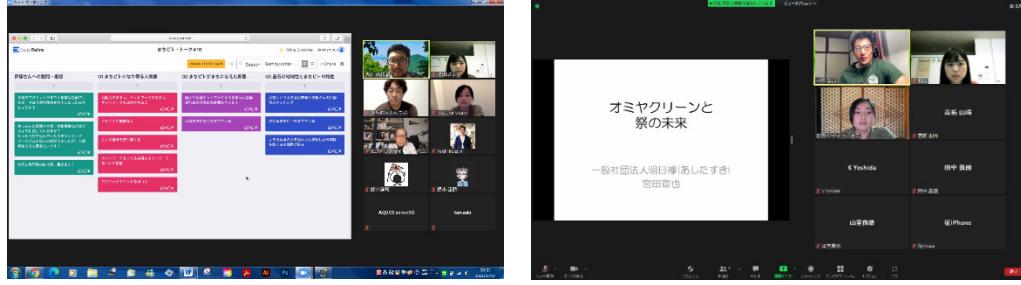
東広島市西条駅周辺地区

テーマ	①短期的なプレイスマーリングの実践と効果把握 ②エリアプラットフォーム
実施経緯（1回）	2021年11月19日
講師	内山征



V. まちビト・トーク

テーマ	まちづくりの先導役・担い手づくり
実施経緯（2回）	2021年7月7日 2022年6月17日
講師	伊藤聰 宮田宣也 山崎嵩拓 右田萌 和田早永



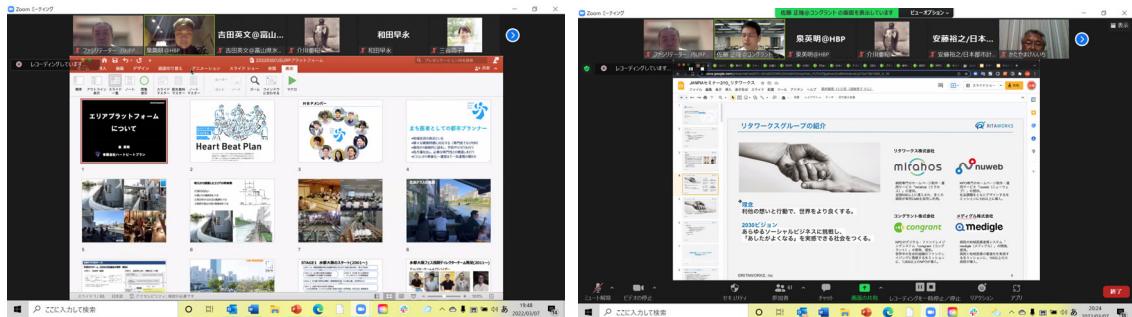
VI. みんなのまちづくりNOTE

テーマ	地域主体のまちづくりに取り組みたい人が最初に読む本
実施経緯	2テーマで作成
講師	ウォーカブルなまちづくり（園田聰） 地域主体のエリアマネジメント（堀江佑典）



VII. 地域主体のまちづくりシンポジウム

テーマ	①2021年度の振り返り ②エリアプラットフォーム ③まちづくりの資金
実施経緯	2022年3月7日
講師	泉英明 佐藤正隆



3. 実施成果

(1) 達成状況

①実施状況

当該事業の当初の事業計画（予定地区、予定回数、予定講師数）に近いかたちで実施することができた。（実施状況を比べると事業規模が大きくなつた。）

<事業計画と実施状況の比較>

事業	当初計画			実施状況		
	地区数	回数	講師数	地区数	回数	講師数
1. 地域住民を対象とした地域主体のまちづくり出前講座	5	15	30	6	15	36
2. 自治体職員向けの地域主体のまちづくり出前講座	3	3	6	3	3	8
3. プレイスマイキングワークショップ	1	1	2	1	1	1
5. まちビト・トーク	-	1	4	-	2	8
6. 地域主体のまちづくりガイドラインの作成・配布・公表	-	2 (テーマ)	2 (執筆者)	-	2 (テーマ)	2 (執筆者)
7. 地域主体のまちづくりシンポジウムの開催(JSURP 地域主体のまちづくりフォーラム)	-	1	2	-	1	2
合計	9	23	42	10	23	57

②効果

地域向け出前講座の6地域の各回の参加者に実施したアンケートでは、本事業の出前講座について9割の方が「役にたつた」と回答している。また、4割の方がすぐにまちづくりに取り組む意向を持ち、5割の方がまちづくりの実践を検討すると回答している。このようなことから、地域向け出前講座は、地域主体のまちづくりについて一定の効果があることがわかる。

自治体職員向け出前講座の2自治体（生駒市、宮古島市 ※真鶴町はレクチャーの内容が異なるため別のアンケートを実施）の参加者に実施したアンケートでは、本事業の出前講座について9割の方が「役にたつた」と回答している。また、4割の方が地域主体のまちづくりについて理解でき、6割の方が概ね理解できたと回答している。これによって、自治体職員から地域団体、住民等への地域主体のまちづくりの推進が期待される。

地域向けの出前講座や、プレイスメイキングワークショップを実施した地域においては、エリアプラットフォームの構築に進みたい意向を持っている地域が出てきた。

また、具体的なまちづくり活動に進むために、独自のワークショップを継続して実施している地域も出てきた。

(2) 今後の取組方針

①得られた知見

具体的に取り組みたいテーマを持つ地域に、その分野の専門家を派遣することにより、まちづくりに進展する効果があることが分かった。今後、募集する際には、テーマの具体性や意欲を評価し選定することが望まれる。

また、自治体職員においては、地域主体のまちづくりを普及するために、当該出前講座が十分に役に立つことが分かった。

プレイスメイキングワークショップでは、小さな実践ではあるが、それを契機に実践に繋がるという速効性があると判断できる。

②改善点

多くの地域、自治体では、まちなかの活性化、ウォーカブルなまちづくり、プレイスメイキング、エリアプラットフォーム等のテーマにおいてニーズも高いことから、実現への後押しの面の工夫が必要になる。

今後、東広島市で実施した「ウォーカブルネットワーク」のワークショップを展開することや、出前講座のテーマの調整においては、今年度の実施結果等を例示するなどにより、きめ細かなテーマ設定を図っていくことが改善点としてあげられる。

③今後の方針

当協会のような中間支援の団体が、地域や自治体のニーズに合わせて、オーダーメイドの出前講座を実施することは、今回の事業の感想を見ても有効であることが分かった。より多くのニーズに応えられるように、講師の発掘と円滑な派遣方法を検討し、体制を強化することが有効である。さらに、地域主体のまちづくりについての経験・学習の機会をつくり、若手専門家を教育していくプログラムも有効である。そのためには、まちビト・トーク、みんなのまちづくりNOTE等の取組は重要である。

加えて、当該事業のような短期的なプログラムにおいても、エリアプラットフォームの形成につながった事例を踏まえて、今後も地域においてエリアプラットフォームの構築について働きかけをしていくことが重要であることから、積極的に説明を行っていく。